

製品名: WNT5A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80725**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42.3kDa

抗原情報

遺伝子名	WNT5A
別名	hWNT5A
遺伝子 ID	7474.0
SwissProt ID	P41221
免疫原	大腸菌で発現した WNT5A の精製された組み換え断片。

背景

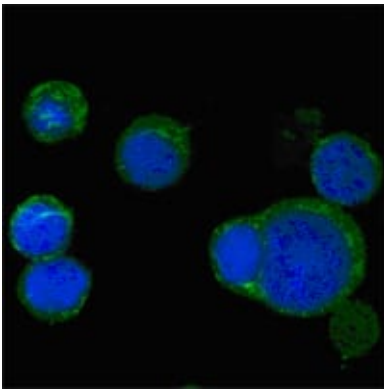
WNT5A: wingless 型 MMTV 統合部位ファミリー、メンバー 5A。Entrez タンパク質: NP_003383。WNT 遺伝子ファミリーは、構造的に関連のある遺伝子から構成され、分泌シグナル伝達タンパク質をコードする。これらのタンパク質は、腫瘍形成や、胚発生に

おける細胞運命やパターン形成の制御など、いくつかの発生過程に関与していると考えられている。この遺伝子は WNT 遺伝子ファミリーのメンバーであり、マウス、ラット、アフリカツメガエルの Wnt5A タンパク質とそれぞれ 98%、98%、87%のアミノ酸相同性を示すタンパク質をコードする。アフリカツメガエル胚を用いた実験により、ヒト frizzled-5 (hFz5) が Wnt5A リガンドの受容体であり、Wnt5A/hFz5 シグナル伝達が軸誘導を媒介することが明らかになった。

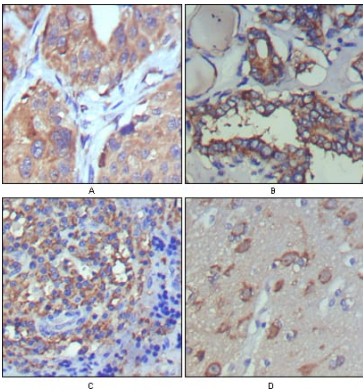
研究分野

Wnt シグナル伝達経路

画像データ



WNT5A マウス mAb (緑) を用いた PC-12 細胞の共焦点免疫蛍光染色。細胞質局在を示す。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



パラフィン包埋ヒト肺がん (A)、甲状腺がん (B)、リンパ節 (C)、および脳 (D) の免疫組織化学分析。DAB 染色による WNT5A マウス mAb を使用して細胞質および細胞外マトリックスの局在を示しています。